

美作市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1年目の活動報告

平成28年8月8日

美作市総合戦略推進会議事務局

I-1 看護師等養成専修学校の誘致

美作市スポーツ医療看護専門学校、平成30年4月開校へ

➤平成28年3月 (学)大阪滋慶学園と「専門学校と通信制高校の設置に関する基本協定書」を締結

□ 美作市スポーツ医療看護専門学校に設置予定の学科・定員

◇看護学科 40名×3年(120名) ◇スポーツ医学科・柔整スポーツトレーナー 30名×4年(120名)

◇介護福祉科 40名×2年(80名) ◇日本語学科 40名×1年(40名) 合計 360名(最大生徒数)



I-2 発達支援センター設立事業

美作市発達支援センターの開設

- 平成28年4月、美作保健センター内(美作市北山)に開設
- センターの職員は臨床心理士、保健師、保育士、元小学校教諭、看護師など
- 教育委員会と協働し、幼稚園・保育園を専門スタッフが月1回巡回相談
- 平成28年5月末現在で、7園・33人に面接を実施。



(写真と図)
「広報みまさか8月号」より

I-3 「ニートや引きこもり」の自立支援組織の創設

「人おこし事業」への支援

- 平成28年4月、NPO法人山村エンタープライズが、「人おこしシェアハウス」(美作市田殿)を拠点として整備し、「人おこし Hito Refresh Camp」や「人おこし お試しキャンプ」の取り組みを開始。
- 「人おこし事業」とは、人と交わるのが苦手で、学校や社会にうまくなじめていないと思っている人や、生きづらさを抱え、一歩が踏み出せずにいる、そんな若者たちのための田舎合宿型リフレッシュ・プログラム。
- 平成28年4月時点で、3人を受入れ、支援を開始。



(写真)
山村エンタープライズのHPより

Ⅱ-1 レーシング・スクール等の誘致・拡充

NODAレーシングアカデミーの活動支援

- 平成27年5月、NPO法人青少年少女モータースポーツ振興会が、美作市朽木に新たな活動拠点として「NODAレーシングアカデミー」を開校
- 生徒・職員の転入者数 9名、給食調理員等雇用者数 8名
- 平成28年3月、卒業生2名のうち、1名が美作市内企業に就職



平成27年6月、石破地方創生大臣視察



平成27年7月、生徒2名がレースデビュー

Ⅱ-2 私立特別支援学校の誘致

日本体育大学との協力関係を深化

- 平成26年12月、「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結(自治体初)
- 平成27年11月、日本体育大学の「集団行動」の合宿を誘致(指導者・学生79名)
- 平成27年12月、日本体育大学市町村サミットにおいて、萩原市長が基調講演
- 平成28年 9月、松浪理事長の講演会(予定)



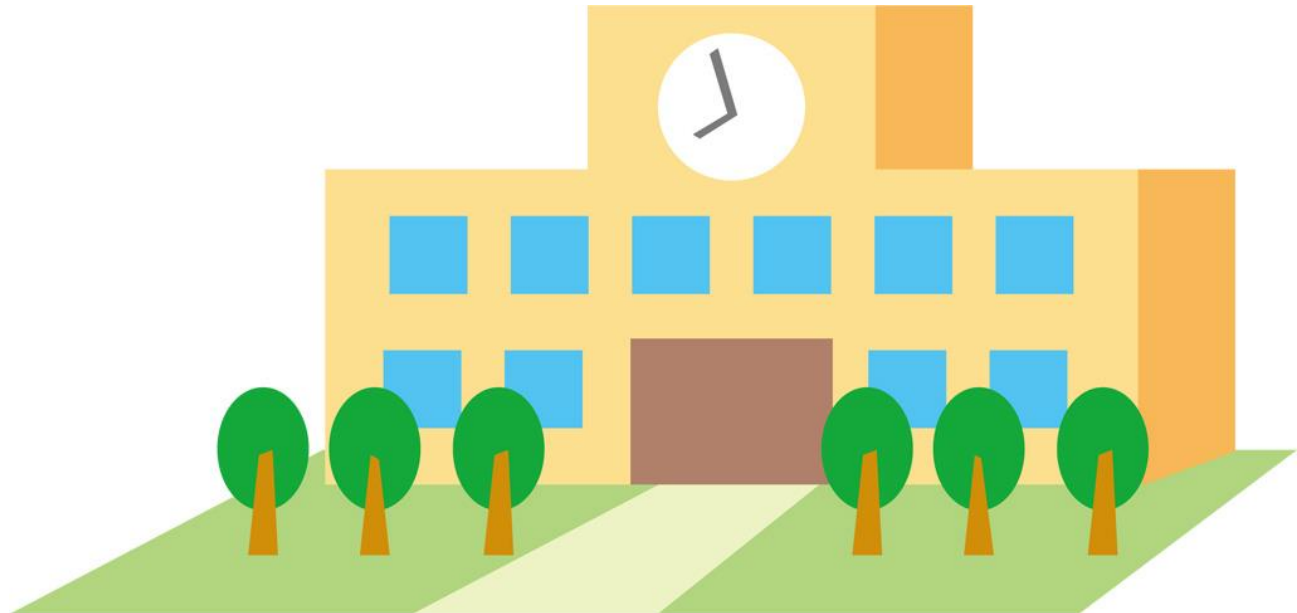
「集団行動」合宿(美作アリーナ)

Ⅱ-3 都市部の私立高等学校等の学校機能の移転・誘致

学校法人との包括連携協定の締結準備



➤事務ベースで具体的な協定案を調整中



Ⅱ-4 「高校で予備校衛星中継授業をいつやるか？今でしょ！」事業

高校魅力化について対策を練る

- 林野高校は独自に予備校講座を活用した学習支援が行われていることから、他の有効な取組(世界的な情報通信網関係会社との連携)について、林野高校と協議。
- 「みまさか学」の授業に萩原市長が特別講義を行う。
- 越境入学について、三県境地域創生推進会議として、国(地方創生担当大臣)及び県・県教育委員会(知事、教育長)あてに要望書を提出。(平成27年7月、9月、12月) 岡山県教育委員会が前向きな方向で調整中。



三県境地域創生会議



「みまさか学」の授業風景(山村エンタープライズのHPより)

Ⅱ-5 美作型保幼小中一貫連携教育推進事業

不登校解消に向け、着実に実施

➤ 小中学校教職員の連携や美作塾との連携により、不登校解消に効果がみられた。

	KPI	H27FY 実績
評価指標の期間	平成27年4月～32年3月の合計	平成27年4月～28年3月の合計
不登校児童・生徒等の数の減少	10人	2人
指導主事や講師の雇用者数	3人	1人



Ⅱ-6 保幼小中が連携する英語教員推進事業

平成28年度から体制を整備する

- 平成27年度は、カリキュラムの都合により、英語検定は未実施
- 平成28年度から、新たにALTを2名採用し体制整備。また、カリキュラムに組み込むなど、英語教育の充実を図る。



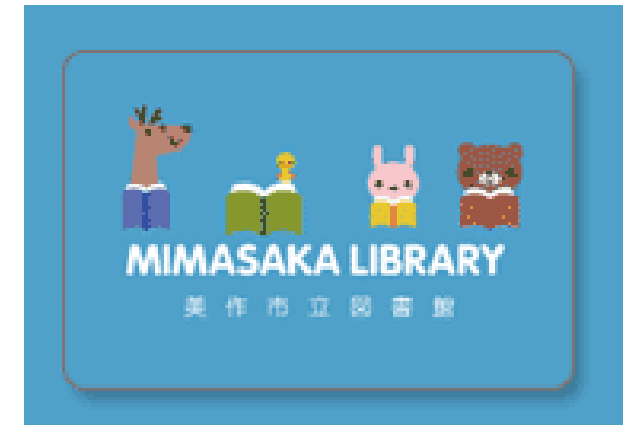
後援：文部科学省



Ⅱ-7 本大好き応援事業(本のコンシェルジュ派遣)

読書コンシェルジュグループによる普及活動

- ▶ 大学教授等で結成された読書コンシェルジュグループにより、以下のような活動を通して、読書の啓発・普及を図った。
- ・ 児童・生徒に対し、本の読み聞かせや読書への興味づけ
 - ・ 教職員に対し、読書のあり方や読書推進の方法等のレクチャー



【美作市立の5つの図書館】



中央



作東



英田



東粟倉



大原

Ⅱ-8 自衛隊体育学校誘致事業

一部移転として、女子七人制ラグビーの合宿を実施

- 平成27年8月、政府関係機関の地方移転の提案募集に、防衛省自衛隊体育学校(東京都練馬区)の美作市内移転をエントリー。
- 平成28年3月、「政府関係機関移転基本方針」(まち・ひと・しごと創生本部決定)により、美作市における「自衛隊体育学校の合宿の実施」が明示された。
- 平成28年9月、自衛隊体育学校女子ラグビー部の合宿(9/1～6)を行うとともに、自衛隊体育学校を含めた9団体12チームを迎えて、「女子ラグビーセブンス交流会 in美作」(9/3,4)を開催。



Ⅲ-1 新規就農・就林者の拡大

作業の省力化支援の実施

- 平成27年度 新規黒大豆耕作者 3名、新規就林 1名
- 平成28年度(概況) 作付農家 14件(2.2%)減少、作付面積 12ha(11%)増加

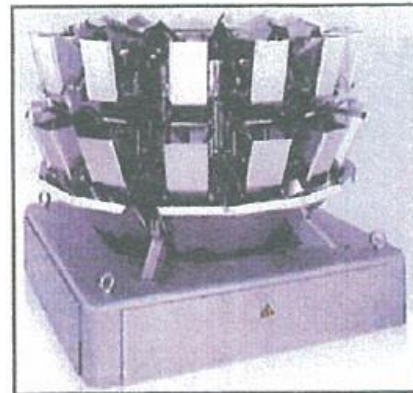
省力化支援の効果

フルカラーベルトソーター



虫食い・シミ・色合いを
自動で選別する機器

コンピュータスケール



一袋210gになるよう組
み合わせる機器



くろまるくん



えだまるくん



Ⅲ-1 有害鳥獣を地域資源として活用(ジビエの先進地を目指して)

ジビエを「ふるさと名物」に

- 平成27年度、獣肉処理施設(地美恵の郷みまさか)職員 2名新規採用
- 販売実績:平成26年度1,560万円 ⇒ 平成27年度2,000万円



難波邸のランチ(鹿肉のロースト)
(出典)みまさか観光ナビ

平成27年6月、石破地方創生大臣視察 (左:ジビエ肉加工食品の試食 右:鹿の角アート作品)

Ⅲ-2 農作物栄養成分分析事業

高付加価値農作物としてPR

- 農作物栄養成分分析調査 平成27年度 調査品目:20種類、栄養素23種類
- 直売所等を訪れた観光客数 1,250人

	栄養素	全国標準比
寒締めほうれん草	ビタミンC	229%
小松菜	ビタミンC	203%
日指ごぼう	鉄分	629%
きくらげ(ゆで)	カリウム	351%
うど	食物繊維	167%
ねぎ	カルシウム	157%



「彩菜みまさか」の表示例

Ⅲ-2 国立健康・栄養研究所誘致事業

3次審査で落選、大阪市へ移転決定

- 岡山県とともに積極的に提案(倉敷市と共同提案)し、2次審査までパスしたが、平成28年3月の最終方針で、大阪市への移転が決定した。

The screenshot shows the homepage of the National Institute of Health and Nutrition. At the top, there is a navigation bar with links for 'Site Map', 'Access', 'Contact Us', and 'English'. Below this is a search bar. The main banner features a green background with circular images of people and the slogan '生涯を通じた健康づくり' (Building health throughout your life). Below the banner are four main content areas: '国民健康・栄養調査' (National Health and Nutrition Survey), '運動・身体活動' (Exercise and Physical Activity), '健康・栄養情報' (Health and Nutrition Information), and '「健康食品」の安全性・有効性情報' (Safety and Effectiveness Information of Health Foods). A 'New Information' section on the left lists recent news items with dates and titles. On the right, there is a 'PICK UP' section with featured articles and a '100th Anniversary' banner.

Category	Date	Title
採用	2016年7月13日	任期付研究員(臨床栄養研究部メタボリックシンドローム研究室)公募(PDF)
機関紙	2016年7月13日	機関紙「健康・栄養ニュース」第56号発行(PDF)
採用	2016年7月11日	栄養教育研究部 技術補助員募集(PDF)
採用	2016年7月8日	任期付研究員(食品保健機能研究部食品機能研究室長)公募(PDF)
採用	2016年7月4日	国際産学連携センター 技術補助員募集(PDF)
採用	2016年6月15日	特別研究員(国民健康・栄養調査研究室)公募(PDF)
お知らせ	2016年4月27日	茨木市と連携協力に関する協定を締結しました(PDF)
採用	2016年4月14日	栄養教育研究部 栄養ケア・マネジメント研究室 技術補助員募集(PDF)
お知らせ	2015年3月13日	「特別用途食品・栄養療法エビデンス情報」サイト公開中止のお知らせ

(出典)国立健康・栄養研究所のHP

Ⅲ-3 新規産業団地の整備と誘致促進

既存産業団地の販売促進

- 作東作業団地の誘致率 約85%→平成28年度末に約93%
- 販売中の団地の動画をWEBでPR(ドローンによる空撮)



作東産業団地(黄色の部分の販売中)



販売中の真加部工業団地、桃山産業団地、宮原産業団地

Ⅲ-4 外国人技能実習生等の受入れ(ベトナム等交流事業)

ダナン大学を核としてベトナムとの関係強化

- 平成27年4月 美作市はダナン大学と相互協力協定を締結(自治体初)
- 平成27年8月 みまさか商工会はTTLC社と事業協定を締結
- 平成28年1月 美作市はダナン大学卒業生をインターンとして採用
- 平成28年4月 官民協働組織である美作日越友好協会が設立される
- 平成28年7月～ 東京オリ・パラにおけるホストタウンへの登録を目指す



ベトナム人技能実習生のみなさん



ダナン大学と相互協力協定



みまさか商工会と技能実習生送り出し機関 (TTLC社)の事業協定



美作日越友好協定の発足

Ⅲ-5 プレミアム付商品券の共同発行、「元気すくすく商品券」の発行

約3.6億円の消費喚起効果

- プレミアム付き商品券を勝央町、西粟倉村と共同で発行。対象は美作市民。取扱加盟店は約400店舗(3市町村全体で約580店舗)。1,000円分の商品券12枚で1セットとして10,000円で販売(プレミアム率は20%)。美作市は30,120セットを用意した。→消費喚起効果 360,579,000円
- 元気すくすく商品券を子育て世帯支援として、未就学児一人につき、1,000円分の商品券5枚で1セットとして5,000円分を交付(1,199人分)。取扱いは、みまさか商工会加盟店(市内151店舗)。→消費喚起効果 5,664,000円



プレミアム商品券(見本)



元気!すくすく商品券(見本)

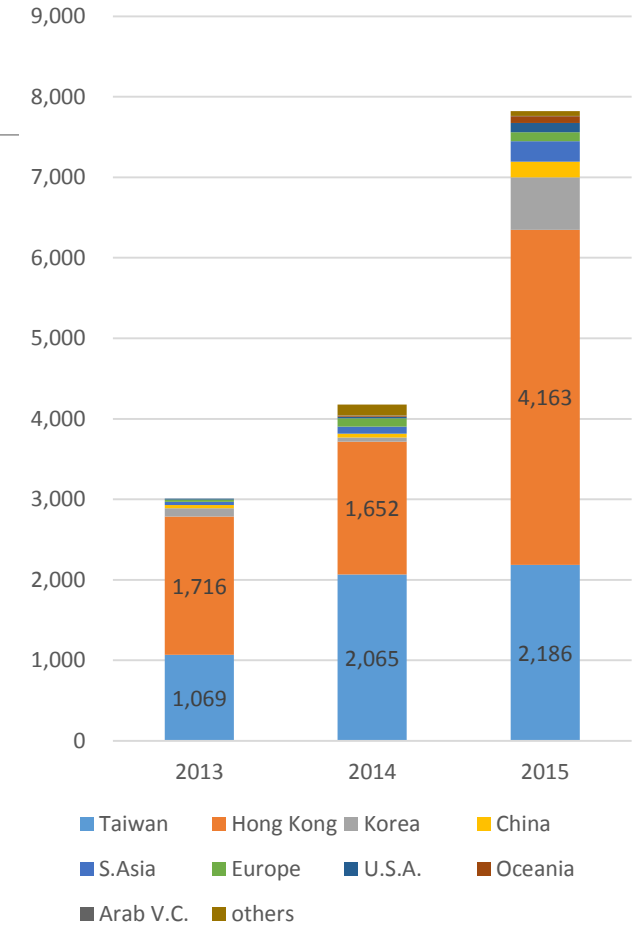
Ⅲ-6 因幡街道三宿ひと往来事業、インバウンド観光の推進

広域インバウンドの推進

- 平成27年度実績として、
 - ・因幡街道三宿場内を訪れた観光客数の増加数 220人
(H26年度397人→H27年度617人)
 - ・インバウンド観光客の年間宿泊者数 7,822人 (前年4,179人)
 - ・外国人向け消費税免税店の数(美作市内) 新規1件



台湾台北市における三県境トップセールス(H28.7)

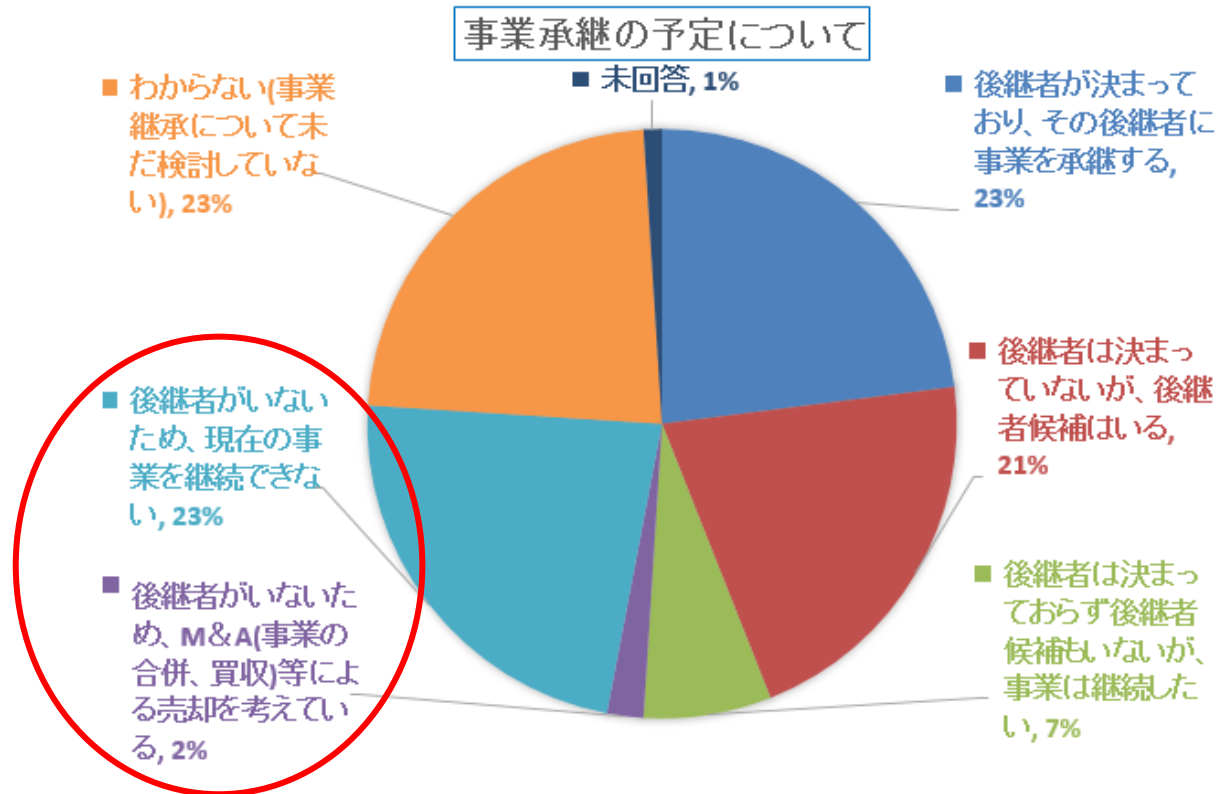


インバウンド宿泊者数
(湯郷温泉旅館協同組合調べ)

Ⅲ-7 店舗等経営後継者育成事業

マッチングがむずかしい

- 地域おこし協力隊 平成28年10月採用に向け準備中 (採用予定人数 6人)
- 店舗後継について、市内の事業所(832社)にアンケート調査を実施。→1/4が事業継続困難



Ⅲ-8 地域活力創生事業

創業・新事業活動への支援強化

➤平成27年度実績は、

- 新規創業者等の新規出店数 3件
- 経営革新計画等認定事業者数 1件

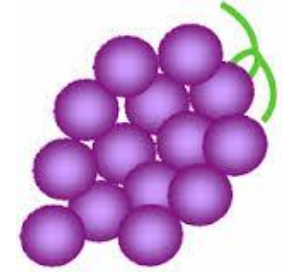


施工前

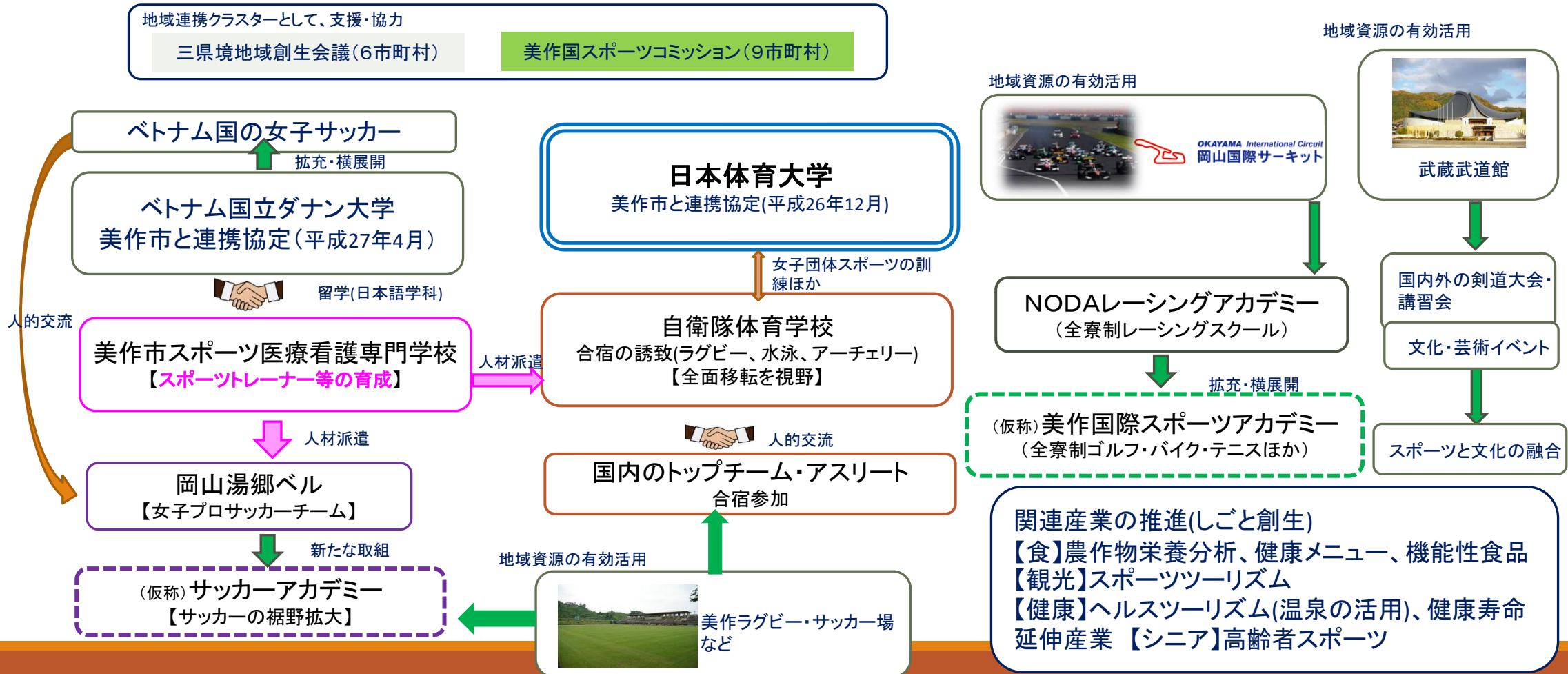


施工後

Ⅲ-9 スポーツ関連産業推進事業



スポーツクラスターの形成促進



Ⅲ-10 健康体操の制作など各種プロモーション

日体大と協定を締結している自治体との協働

- 日本体育大学と体育・スポーツ・健康づくりの分野において協定を締結している自治体は、全国で38ある。(平成28年7月末時点)。
- 美作市が最初に協定を締結した自治体であることから、北は北海道、南は九州まで、賛同する全国11の自治体と広域連携を行い、日体大の「健康体操」の普及に取り組むこととし、国の27年度補正予算の交付金事業にエントリーしたが、落選。
- 平成28年度は、内容を見直して、プロモーション事業を行う。
(28年度の国の支援事業に採択)



IV-1 薪エネルギーの導入促進

薪ストーブの導入促進

- 平成27年度、薪ストーブは新たに15基設置された。CO₂削減効果は、43.7 t・CO₂



薪ストーブ(イメージ図)

IV-2 集落生活圏の維持・課題解決

「小さな拠点」づくりの推進

- 移住定住による転入者数 160人 (岡山県市町村別移住者数調べ)
(※)市町村別ランキングでは、世帯数は岡山市に次ぐ第2位、人数は岡山市、倉敷市に次ぐ第3位
- 上山地区では、「中山間地域の生活・経済活性化のための多様なモビリティ導入」プロジェクト(上山集落みんなのモビリティプロジェクト)がトヨタ・モビリティ基金の助成(日本で最初)を受けて始動(平成28年1月～)
- 巨勢地区では、総務省の補助金(岡山県下で唯一の採択)を受け、巨勢地区自治振興協議会が中心となってコミュニティの推進に取り組んでいる。(平成28年4月～)
- 美作市は、各地区の創意工夫ある取組を推進するため、新たに「美作市自治創生事業」を予算化し、平成28年8月から公募を開始した。



IV-3 移住定住促進に対する補助制度整備事業、若者向け市営住宅の整備

多様な手段により、移住定住を促進

- 美作市の単独財源による補助金制度 平成27年度から拡充
→ 交付実績 39件、11,728千円 (移住定住者 123人)
- 移住定住フェアに参加(首都圏、関西圏)。
- 移住定住特設ホームページの開設 → 平成28年3月公開。6月時点で7,000件超のアクセス
- PR動画「まさか、みまさか」シリーズ 6パターン。俳優 梶原 善さんを起用。
→ 平成28年3月公開。6月時点で67,000回を超える再生。



みまさか暮らしの質
改善プラン

定住支援

美作市にお住まいになるときの支援をご紹介します

- 移住定住のための補助金制度
美作市では移住・定住を促進するために補助金を交付しています。
- お試し住宅
田舎暮らしのために中古物件等を購入される前に、美作市が整備したお試し住宅で田舎暮らしを体験できます。
- 空家バンク
美作市内の空き家情報を提供します。



IV-3 若者向け市営住宅の整備

雇用促進住宅の取得へ

- ▶平成27年度は(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構と協議。平成28年度中に雇用促進住宅(280戸)を取得するよう取組中。平成29年度の新規入居を目指す。



美作宿舎



北山宿舎



勝田宿舎

IV-4 美しい里山公園の整備

里山公園の整備促進

➤ 里山公園の整備面積 平成28年3月時点 220 ha (KPI 平成32年3月末 500 ha)



その他

金融機関との連携

美作市と中国銀行、トマト銀行、津山信用金庫は、「地方創生に係る連携と協定に関する包括協定」を締結(平成28年6月)。それぞれが有する知的・人的資源を有効活用し、地域経済の活性化に向けた取組を加速化させる。(県北で初)

